

夏の交通事故防止県民運動が実施されました

7月20日から8月20日までの期間、夏の交通事故防止県民運動が実施されました。7月18日には、元栗橋東京電力変電所前にて、境地区交通安全協会五霞支部・五霞町交通安全母の会、境警察署の協力により、夏のキャンペーンが実施されました。

当日は、運転手さん約300名へ交通安全のチラシとコースター・冷却シートの配布を行い、交通ルールの遵守及び交通マナーの向上を呼びかけました。

また、期間中、防災行政無線を使い、五霞東・西小学校児童による広報活動を実施し、町内の交通事故防止を広く周知しました。



さかいふるさと祭り 花火大会が開催されました

7月21日、町が後援している「さかいふるさと祭り花火大会」が盛大に開催されました。

当日は、約3,000発の花火が夜空を彩り、山王スパー堤防に開設した観覧会場は、多くの来場者で賑わいました。



節電街頭キャンペーンが実施されました

7月18日、交通安全事故防止県民キャンペーンとあわせて、節電街頭キャンペーンが行われ、啓発品の配布を行い、節電の協力をお願いしました。

交通危険箇所確認作業が実施されました



毎年8月の第1日曜日に、枝葉等が道路上に伸び出て、通行に支障をきたす恐れがある箇所の交通安全確保のため、町内全域を対象とした交通危険箇所確認作業を実施しています。

今年も、8月3日に交通安全協会五霞支部が主体となり、小福田・元栗橋駐在所警察官の協力のもと、交通安全上危険となる箇所やカーブミラー・交通標識等の点検確認を行いました。

道路に面した山林等を所有する方におかれましては、今後も定期的な枝葉等の剪定により、交通事故防止にご協力をお願いします。

「道の日」に道路の美化清掃運動が実施されました

8月8日「道の日」に道路の美化清掃運動が実施されました。

この清掃運動は、茨城県建設業協会境支部が主催となり、町内における県道に投げ捨てられたゴミを拾うことにより、道路管理の大切さを示すとともに、ゴミの投げ捨てを抑制するモラルの確立を目的とするものです。

ゴミの量は減少傾向にあり、意識の高まりが見受けられました。ゴミの投げ捨てをなくし、これからもきれいな道路を目指しましょう。

